



第9期 神奈川区地域づくり大学校

第1講 ここから始まる地域づくり大学校



神奈川区地域づくり大学校は、暮らしの中で“こうなったらいいな”を形にしていくプロセスを楽しく学び、地域の新たなつながりを創り出す連続講座です。

第9期も、一人ひとりが培った経験や想いを活かして、神奈川区のこれからの地域づくりを学んでいこうとする熱意ある26人の受講生が集まりました！！

第1講 概要

日時:2023年9月24日(日)

13:00~16:00

場所:かな一ちえ(神奈川区地域子育て支援拠点)

主催:神奈川区連合町内会自治会連絡協議会・
神奈川区役所・NPO 法人親がめ

総合ファシリテータ:

NPO 法人親がめ 塚原 泉 氏

ゲスト講師:NPO 法人まち×学生プロジェクト
plus 原島 隆行 氏

当日のプログラム

■開校あいさつ

・神奈川区連合町内会自治会連絡協議会
佐藤 潮 会長

・神奈川区役所 日比野 政芳 区長

■アイスブレイク「5人とトーク」

■ミニ講義「地域づくり大学校の5つの柱」

■すごろくワーク「笑って語ってお互いを知る」

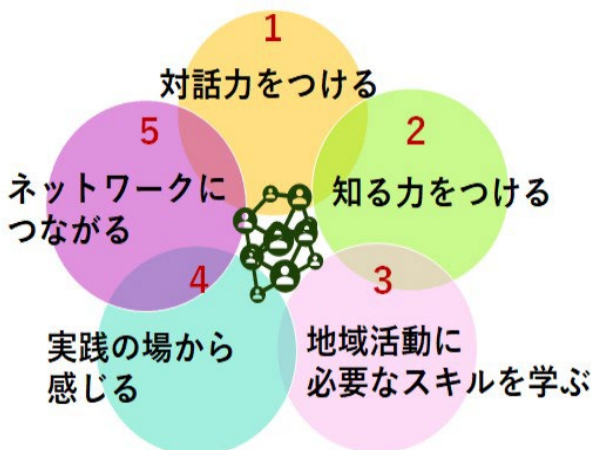
■情報提供(中間支援組織/卒業生活動紹介)

■感想共有

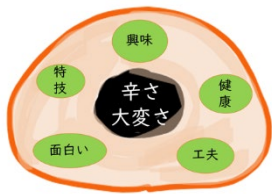


■ミニ講座 「神奈川区地域づくり大学校の5つの柱」

神奈川区地域づくり大学校の5つの柱



- 地域大を通して5つの柱を学び、自身の活動に活かしましょう。
- 他分野のいろいろな人の話を聞き、多様な意見を知ることができます。
- 活動団体の活動現場へ行ってみよう「現場へGO！」
- 新たな活動を始める時は、仲間を3人集めよう。
- 地域大を通じて、地域でやってみたいことを「アクションプランシート」にまとめます。
- 苦手なことは得意な人に頼ってみよう。
- 自分の心に活動の種火をつけると、その火が他の人に伝播していきます。



●まんじゅう理論：

あんこ＝課題（個人の場合はつらさや大変さ）を取り除こうとするよりも皮＝楽しさ・面白さ・工夫・スキル・趣味等に注目して、皮を厚くすることを併行することで、あんこが相対的に小さくなるという理論

■すごろくワーク どんな場面でも、どんなテーマでも、対話が進む！盛り上がる！

🎲ルール:対等に話す（話す分量に留意）、全員が話す、相手の話を否定しない

大きな🎲を振り、でた目のコマに全員で止まり、自分の想いを話します



初対面でも、すごろくの設問に皆で答えるうちに、グッと距離が縮まり、自然と笑顔が広がるすごろくワーク。

参加動機や地域づくり大進学校に期待することなどの深い問いでは、じっと話に聞き入る姿が見られました。体験したワークは、これからの地域活動にきっといかされことでしょう～♪



原島さん考案のすごろくワーク🎲

■情報提供① 地域活動を応援するコーディネーターがいる！



講師の原島氏は、地域ケアプラザ・地域交流コーディネーターの立場からも、身近な町の中に、そこに住まう人達の様々な活動を応援し、つなげ、支える中間支援の役割を担う心強い味方がいること(神奈川区社会福祉協議会・区民活動支援センター・かなーちえ、など)を伝えてくれました。

■情報提供② ICT分野で活躍する卒業生からの応援



■感想共有 第1講で心に残った一言

分かち合いした言葉（抜粋）

アンテナ / いろんな人がいる / 自分のペースで自分の力を向けていく / 人とつながりたい / 悲しいことから学びがある、学ぶことは自由になること / 対話を極めたい / 新しくつくる / すごろくのゴールがスタート / 出会いと縁 / 働くことは社会とのつながり / 一人ではできないこと

卒業生(6期生)の頼さんより：「地域づくり大進学校応援サイト」の紹介